

オンラインセミナー

withコロナの社会における 市民活動の役割を考える

近畿ろうきんと近畿2府4県のNPO支援センターは、「NPOパートナーシップ制度」を通して、「コロナ禍の課題に対応するNPOへの支援活動」、コロナ禍での「居場所づくりへの支援活動」「防災・減災の取組み」を進めました。

今年度の取組みの経験とコロナ禍の社会環境の変化を踏まえ、withコロナの社会における市民活動の役割を考えるセミナーを開催します。

2022年2月11日(金・祝)
14:00~16:10

定員100名
参加費無料



桜井政成教授

大学生時代に阪神・淡路大震災を経験しボランティアで被災地を訪れて以来、ボランティア活動、NPOに関心をもち、NPO法人事務局長、立命館大学ボランティアセンター・ボランティアコーディネーター等を経て現職。

1 基調講演「コロナ禍で変わる連帯の形とNPOの役割」

講師：立命館大学 政策科学部 教授 桜井 政成さん

コロナ禍で、普段から困難を抱えている人とその人を支える市民活動はどう変化したか？
コロナ以前からあった課題にも触れながら、今、市民活動の実践者やその活動の支援者が持つべき視点や取り組むべきことを考えます。

2 コロナ禍における活動報告

- ・コロナ禍での気候変動対策の取組み……………奈良ストップ温暖化の会 理事長 当麻 潔さん
- ・コロナ禍での障がい者支援・介護離職防止の取組み……………シンフォニー 理事長 山崎 勲さん

3 クロストーク「withコロナの社会で、市民活動に求められること」

- ・立命館大学 政策科学部 教授 桜井 政成さん
- ・わかやまNPOセンター 副理事長 志場 久起さん
- ・CS神戸 事務局長代行 山村 弘美さん
- 【進行】大阪ボランティア協会 青山 織衣さん

■お申込み■

2月4日(金)17時まで以下フォーム、右のQRコードからお申込みください。
<https://forms.gle/nWhu9MRfm5iETCmK9>

※お申込み時にお知らせいただいたメールアドレスにZoomのURLをお送りします。
※ご提供いただいた個人情報は、本セミナーの運営以外の目的には使用しません。

